



学校だより

# 深谷

令和5年4月7日

4月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

## 希望の笑顔

校長 石原 加代子

校庭の桜は3月末には満開となり、春の空気が漂っています。新入生33名を迎え、全校児童221名でスタートしました。お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

WBCの映像を何度見ても感動がよみがえり、明るい希望を感じています。チームが一丸となってあきらめずに全力を尽くす姿、相手を尊敬して称え合う姿勢など、感動ばかりでした。新学期を迎え、子どもたちは新たな目標を抱いていることでしょう。私たち教職員も、期待で胸が踊っています。新学期は、期待と不安が入り混じる時期です。子どもたちの思いに寄り添いながら意欲を継続し、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組むことができるように指導・支援をしていきます。そして、達成感の喜びで笑顔がたくさん見られるようにし、子どもたちも教職員も、成長に感動する一年間にしたいと思います。

### 学校教育目標

『自ら学び 伝え つながる深谷っ子』

児童一人ひとりを大切にしながら、笑顔あふれる、まちとともに歩む学校

学校教育目標のもと、自ら生き生きと学び、自分の考えを伝え合い、学び合い、深いつながりをつくっていくことを目指します。様々な見方や考え方を知り、自分自身や友達のよさに気づき、お互いに一人ひとりの個性を認め合える人に育ててほしいと願っています。

子どもたちのよりよい学びと成長のために、教職員全員が子どもたちとしっかり向き合い、一人ひとりを大切にしながら、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。ご家庭と連携して基礎基本をしっかりと定着させるとともに、主体的に学習に取り組み、自分の考えを深めて豊かに表現できる力を育みたいと考えています。また、小規模校のよさを活かして子どもたちの活躍の場を設け、自己有用感を高めていきたいと思っています。

全校児童数は少し減っただけですが、4年以外は単級となりました。一部教科分担任制・専科・チームティーチングでの授業を実施し、担任だけでなく、より多くの教員が子どもたちと関わり、「心の安定」を基盤にした「学力向上」を図ります。また、低・中・高学年ブロック経営を充実させ、教職員が一丸となり、WBC「侍ジャパン」に劣らない深谷小チームで子どもたちを育てていきます。

昨年度は、創立50周年記念の様々な行事を通して、深谷のまちとのつながりを深めました。学校運営協議会をはじめとする地域の皆様・保護者の皆様のお力添えをいただきながら、さらにつながりを深め、「ふるさと深谷」を担う子どもたちの健全育成に努めてまいります。また、ほっとする居場所のある「だれもが」「安心して」「豊かに」学ぶことができる笑顔あふれる学校づくりに尽力してまいります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。